

2013 年度前期授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—全学共通科目—

共通教育運営委員長 杉 本 義 行

全学共通教育科目の前期開講科目のうち、アンケート実施が義務付けられた科目は、実施が任意であるゼミ・演習、受講者 10 名未満の科目、通年科目を除いた 72 科目で、これらのすべてについてアンケートが実施されました。また、実施が任意の科目については 32 科目のうち 29 科目が実施（実施率 90.68%）され、合計で 101 科目について、延べ 2,759 名の学部生のみなさんからご協力をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、アンケートの実施に対しての貴重な授業時間を割いてご協力頂いた先生方にも深く感謝いたします。

ここでは、全学共通教育全体の集計結果へのコメントを行いますが、すでに周知のように個別科目の集計結果は自由記述欄のコメントを含めて Campus Square から自由に閲覧することが可能です。おおいに利用していただきたいと思います。

さて、授業の満足度を示す「総合評価」の平均は、5 段階評価で 4.49 と大学全体の 4.31 よりも高く、4 学部と比較してもトップの水準となっています。「総合評価」との相関が高い「この分野の関心と学力が得られた」の項目は 4.39 と大学全体 4.16 をはじめ 4 学部を凌駕する高得点となっています。そのほかの項目では、遅刻・休講が少ない 4.50 や授業時間の有効活用 4.44、教員の授業への熱意 4.44、シラバスとの内容一致 4.40 などが高く評価されています。

全学共通科目は、教養科目、外国語、国際交流科目、キャリアデザイン科目、スポーツウェルネス科目、IT 科目、WRD 科目、教職科目とさまざまな科目群から成っています。こうした選択枝の幅と自由選択という科目の位置づけ、質の高い授業が、学生のみなさんの知的な関心を満たし、ひいては高い満足度をもたらしているのだと考えます。

今後とも授業評価を注視しつつ、授業の一層の質向上につとめたいと考えます。